

ルチン (抽出物)

1. 食品添加物名

ルチン (抽出物) (Rutin (extract))

2. 基原・製法・本質

アズキの全草、エンジュのつぼみ若しくは花又はソバの全草から得られた、ルチンを主成分とするものをいう。

3. 主な用途

酸化防止剤、強化剤、着色料

4. 安全性試験成績の概要

(1) 反復投与/発がん性試験

ACIラットを用いた540日間の混餌 (5%)投与及び850日間の混餌 (10%)投与並びにゴールデンハムスターを用いた 735 日間の混餌 (10%)投与において、発がん性は認められていない^{1),2)}。

(2) 変異原性試験

細菌を用いた復帰変異試験の結果は陽性と判断される³⁾。細菌を用いた DNA 修復試験、哺乳類培養細胞を用いた染色体異常試験、マウスを用いた小核試験の結果は、いずれも陰性と判断される^{3),4),5),6)}。

(引用文献)

1. Hirono, I. et al.: Carcinogenicity examination of quercetin and rutin in ACI rats, Cancer Letters, 13, 15-21, 1981
2. Morino, K. et al.: Carcinogenicity test of quercetin and rutin in golden hamsters by oral administration, Carcinogenesis, 3(1), 93-97, 1982
3. 峰谷紀之ら: II. 天然添加物の急性毒性および各種変異原性試験成績の概要 (昭和56~58年度), トキシコロジーフォーラム, 8(1), 91-105, 1985
4. 石館基ら: 食品添加物の変異原性試験成績 (その6) 昭和59年度厚生省試験研究による, トキシコロジーフォーラム, 8(6), 705-708, 1985
5. 石館基ら: I. 食品添加物の変異原性試験成績 (その8) 昭和 61年度厚生省試験研究による, トキシコロジーフォーラム, 10(6), 649-654, 1987
6. 厚生省平成3年度食品添加物安全性再評価等の試験、小核試験 (第二次試験)に関する報告書